

## 26. フェイスボウトランスファー

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 患者の不快感に配慮して診療できる
- ・ モデリングコンパウンドを正しく扱える
- ・ 器具が正しく取り扱える
- ・ 診療後の片付けができる

### <設定場面>

患者は70代女性。下顎の遊離端義歯を作製中で、そのための咬合採得まで終了している。本日、フェイスボウトランスファーを行い、頭蓋に対する上顎の位置を咬合器上で再現できるようにする。

### <治療手順>

#### 1. 患者の誘導と説明

歯科医師：患者の誘導と処置内容の説明を指示する。

衛生士（助手）：患者をチェアに誘導し、処置内容を説明する。

#### 2. バイトフォークの装着 必要器材：顔弓（フェイスボウ）、顔弓に付着のロックナットドライバー、バイトフォーク、モデリングコンパウンド、ウォーターバス、トリミングナイフ

衛生士（助手）：バイトフォークの表面にモデリングコンパウンドを加熱軟化して巻き付ける。

歯科医師：モデリングコンパウンドのついたバイトフォークを上顎の歯列に圧接し、硬化を待つ。

歯科医師：半硬化の状態でも口腔外に取り出し、水中で十分硬化させた後、余剰のコンパウンドをトリミングする。

衛生士（助手）：咬合採得用印象材をバイトフォークの歯列圧痕表面に薄く塗って術者に手渡す。

歯科医師：患者の上顎歯列に圧接し、軽く咬合してもらう。

### 3. 上顎三角の決定

衛生士：「耳の穴に道具を入れます」と患者に説明し、同意を得ておく。

歯科医師：顔弓の耳杆部分を左右の外耳道に軽く挿入し、ロックナットで固定し、顎関節距離を記録する。

歯科医師：顔弓とバイトフォークを軽く連結する。

歯科医師：ナジオンリレーターを顔弓に装着しナジオンに軽く圧接する。

歯科医師：顔弓・バイトフォークの関係を固定する。ロックナットを十分に締め込み、ゆるまないようにする。

歯科医師：ナジオンリレーターを外し、耳杆の幅を固定しているナットをゆるめて、患者から顔弓とバイトフォークを一体で外す。

衛生士：顔弓とバイトフォークの関係を狂わせないように保管して、技工士に渡す。

### 4. 後処置 必要器材：手鏡

衛生士：口腔内に残った印象材を取り除き、患者に洗口してもらう。

衛生士：患者の口腔周囲の汚れなどを確認し、汚れや付着物があれば手鏡を渡し清掃してもらう。

歯科医師：本日の診療終了を指示する。

衛生士（助手）：処置の終了を告げ、次回来院する日時の約束と、処置内容の説明をする。

衛生士（助手）：診療後の後片付けを行う。

## 26. フェイスボウトランスファー

必要器材

- ① 顔弓 (フェイスボウ)
- ② 顔弓に付着のロックナットドライバー
- ③ バイトフォーク
- ④ モデリングコンパウンド
- ⑤ ウォーターバス
- ⑥ トリミングナイフ
- ⑦ 手鏡